

第3回 水無瀬殿前夜に

光を当てて

継体・聖武・桓武天皇から

後鳥羽上皇へ

連続講演会のラストは島本からも近い向日市で長岡京の発掘調査に携わり、古代都城や王権の研究者である山中章さんをお迎えします。

「後鳥羽院が好んだ水無瀬。

この地には歴代天皇が想いを込めて刻んだ深い歴史が残されていた。その跡を辿る」

お話をお聞きします。

そして、3回の連続講座を通して学んだことを水無瀬殿関連遺跡の保存に向けどう生かしていくのか一緒に考えましょう。

講師

三重大学名誉教授
山中章さん



プロフィール

1974年3月 広島大学文学部史学科
考古学専攻課程卒業
1976年9月 京都府向日市役所採用
1992年2月 広島大学にて学位 博士(文学)取得
1998年4月 三重大学人文学部教授
2014年5月 三重大学名誉教授(現在に至る)

主な著作・最新論文

『日本古代都城の研究』(柏書房 1997年)
『長岡京研究序説』(塙書房 2001年)
「桓武天皇の遊獵地と禁野・禁苑の形成」
(『三重大史学』第22号2022年3月13日)

2022年 11月20日(日) 13時30分～16時30分

島本町ふれあいセンター 3階第4学習室

アクセス 住所:大阪府三島郡島本町桜井3-4-1/阪急水無瀬駅徒歩15分、JR島本駅徒歩7分
阪急バス水無瀬駅・JR島本駅より若山台センター行に乗車、島本町役場前下車西へ徒歩3分

定員 80名(事前申し込み制)定員になり次第締め切ります。

資料代 800円
※会場ではコロナ感染防止のためマスク着用、消毒、名簿記入をお願いします。
※コロナ感染状況により中止または定員制限をする場合があります。

参加申込
連絡先

TEL. 090-2061-8001 担当:白藤
e-mail. koto_san1@yahoo.co.jp 担当:厚東(こうとう)

参加申込はこちらからも
受け付けています!



主催/水無瀬殿の保存を考える実行委員会 後援/日本庭園学会・文化財保存全国協議会